

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )									
事業名	サミット関連経費			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了 (予定)年度	平成28年度	担当課室	地域医療計画課 救急・周産期医療 等対策室			室長：伯野 春彦	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	主要国首脳会議(サミット)は国際的な首脳会議の一つであり、その開催については毎年、各国の持ち回り開催となっている。平成28年度は三重県志摩市にある賢島で開催されることとなり、サミットに参加する主要国要人等や毒劇物によるテロ災害等に対する救急医療体制の確保する必要がある。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	サミット開催地である三重県との事前打合せやサミット開催時の首脳要人等に対する救急医療体制の確保や毒劇物によるテロ災害対策について体制整備を行う。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		当初予算	-	-	-	135			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	135	0		
執行額	-	-	-	-	-				
執行率 (%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 28年度
	各国要人が無事に帰国する。	サミット開催時の各国要人の日本国内での入院件数	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	0
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	医療チーム	活動実績	班	-	-	-	-		
		当初見込み	班	-	-	-	28		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	NBCテロ対応チーム	活動実績	班	-	-	-	-		
		当初見込み	班	-	-	-	1		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト=X / Y		百万円	-	-	-	3.2		
	X:執行額 Y:医療チーム数	計算式	X / Y	-	-	-	89.5百万円/28		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト=X / Y		百万円	-	-	-	44.8		
	X:執行額 Y:NBCテロ対応チーム数	計算式	X / Y	-	-	-	44.8百万円/1		
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	1							
	保健福祉調査委託費	134							
	計	135	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること								
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	主要国首脳会議(サミット)は国際的な首脳会議であり、この会議に参加する主要国要人等や毒劇物によるテロ災害等に対する救急医療体制の確保を行うことにより、会議が安全に開催され、そこで話合われた施策が国民に対し日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供されることになる。									
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-
目標値				-	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										
事業所管部局による点検・改善										
事業の効率性	項目			評価	評価に関する説明					
	国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	サミットは、国際的な首脳会議であり、その会議開催時の主要国の要人等に対する救急医療体制等の確保は、必要不サミット開催時の救急医療体制については、開催地の救急医療体制に加えて、さらに国における支援を行う必要があり、優先度の高い事業である。				
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	サミット開催時の各国要人等に対する救急医療体制の確保であり、優先度の高い事業である。				
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	サミット開催時の各国要人等に対する救急医療体制の確保であり、優先度の高い事業である。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	サミット関係の調達について、公正かつ適正な競争を実施するためには、各国の首脳等が救急搬送される受入協力病院の名称・所在地や委託先が確保する必要のある救急医療等の専門知識を有する医師等の人数などを仕様書等に記載し、コストを明確にする必要があるが、このような情報を仕様書等に記載し、一般に公開することは、外交上やテロ対策等の観点からみて、重大な支障を生じさせることから、入札や企画競争を行うことは困難である。そのため、随意契約を行った。					
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	契約にあたっては計画書を提出させ精査している					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-						
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	計画書を提出させ精査している						
利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-							
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-						
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-						
	所管府省・部局名	事業番号	事業名							
	-	-	-							
点検・改善結果	点検結果	-								
	改善の方向性	-								

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

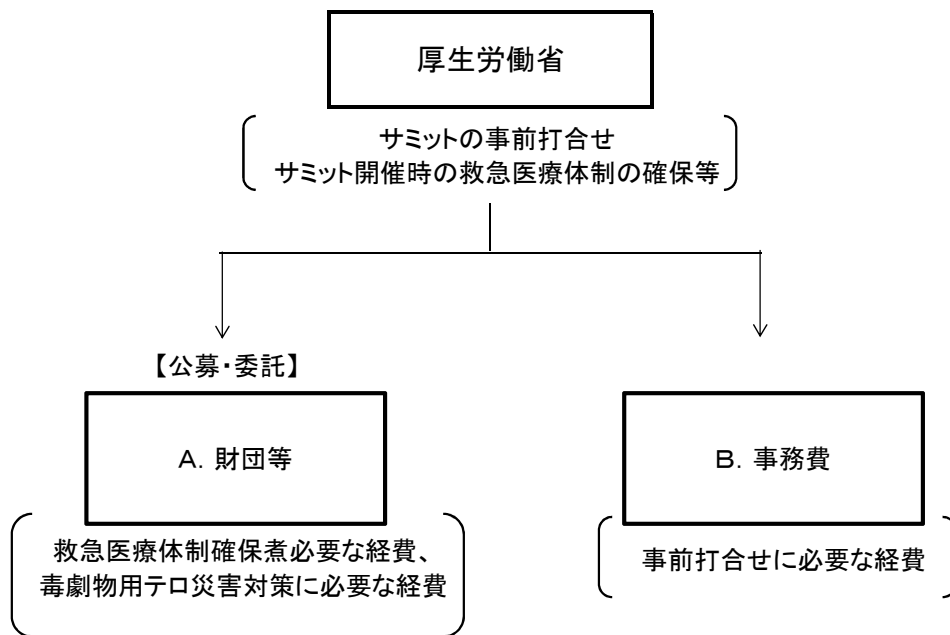
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-002		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

